

令和8年度

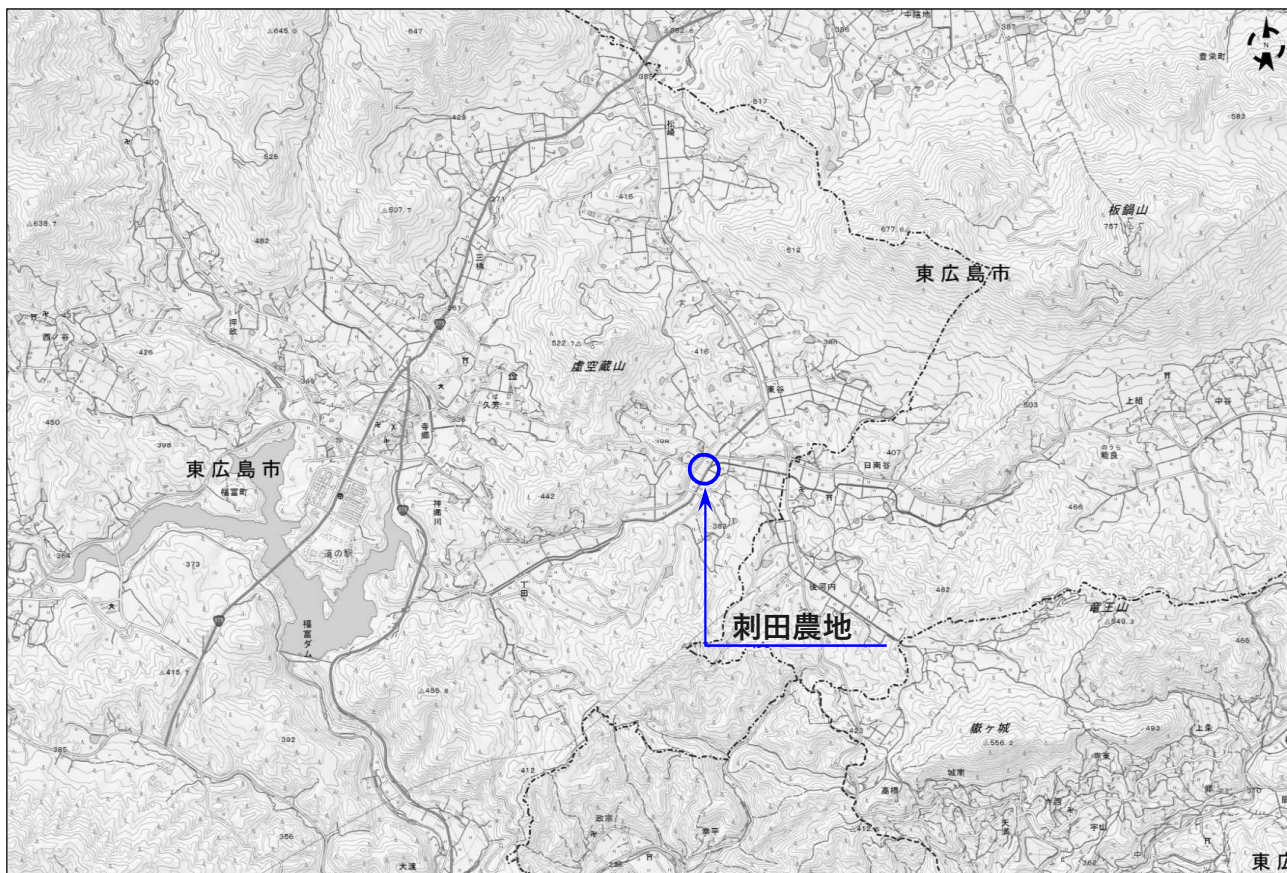
農業用施設災害復旧事業

福富地区災害復旧工事(8-2)

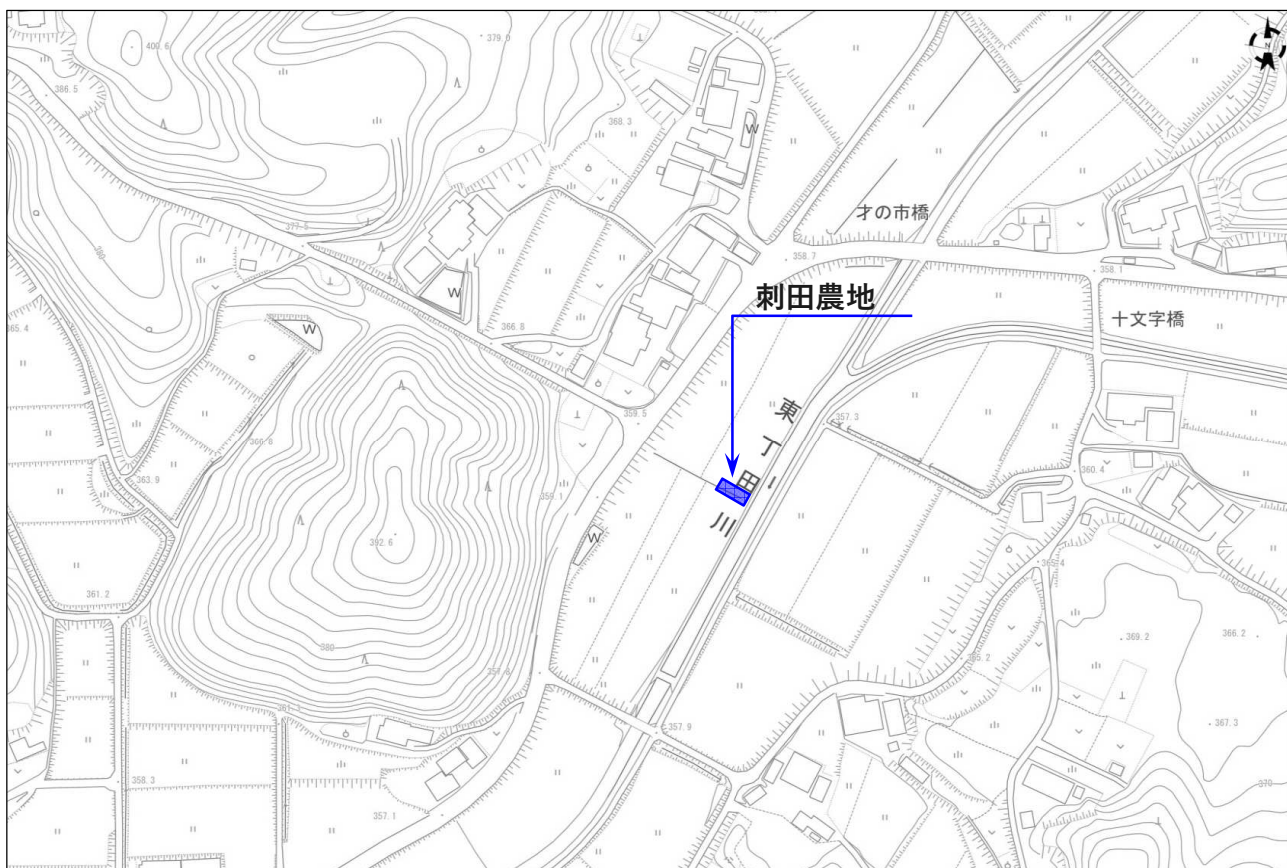
仕様書

施 工 場 所 東広島市福富町久芳

【広域図】



【詳細図】



特 記 仕 様 書

(福富地区災害復旧工事 (8-2))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 工事中情報共有システム (受注者希望型)
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休 2 日適用工事等 週休 2 日 (農林工事)
11. 建設副産物の取り扱いについて
12. 猛暑時間の施工回避
13. 猛暑日等を考慮した工期延長について
14. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 疑義の解決等
3. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushishutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

 - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督

実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等 週休2日（農林工事）

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12. 猛暑時間の施工回避

1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

13. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を5日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要がある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

14. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業^{*}が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 8m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
上戸野地区

(名称)	有限会社広剛産業福富残土処分場1
(所在地)	東広島市福富町上戸野大井出1460-1
(運搬距離)	4.2 k m

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

3. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位		数 量	備 考
本工事費						
刺田農地			式		1	レベル 1
刺田農地			式		1	レベル 2
土工			式		1	レベル 3
掘削		土砂	m3		15	レベル 4
床掘		土砂	式		1	レベル 4
埋戻		土砂	式		1	レベル 4
盛土		土砂	m3		6	レベル 4
人力荒仕上げ			m2		9	レベル 4
運搬工			式		1	レベル 3
土砂運搬		土砂	m3		12	レベル 4
処分費		土砂	m3		12	レベル 4
擁壁工			式		1	レベル 3
ブロック基礎工		A300-B450	m		7	レベル 4
練積ブロック		裏コンなし	m2		13	レベル 4
裏込工		RC-40	m3		6	レベル 4
すりつけ工		練石積	m2		5	レベル 4
畦畔復旧工			式		1	レベル 3

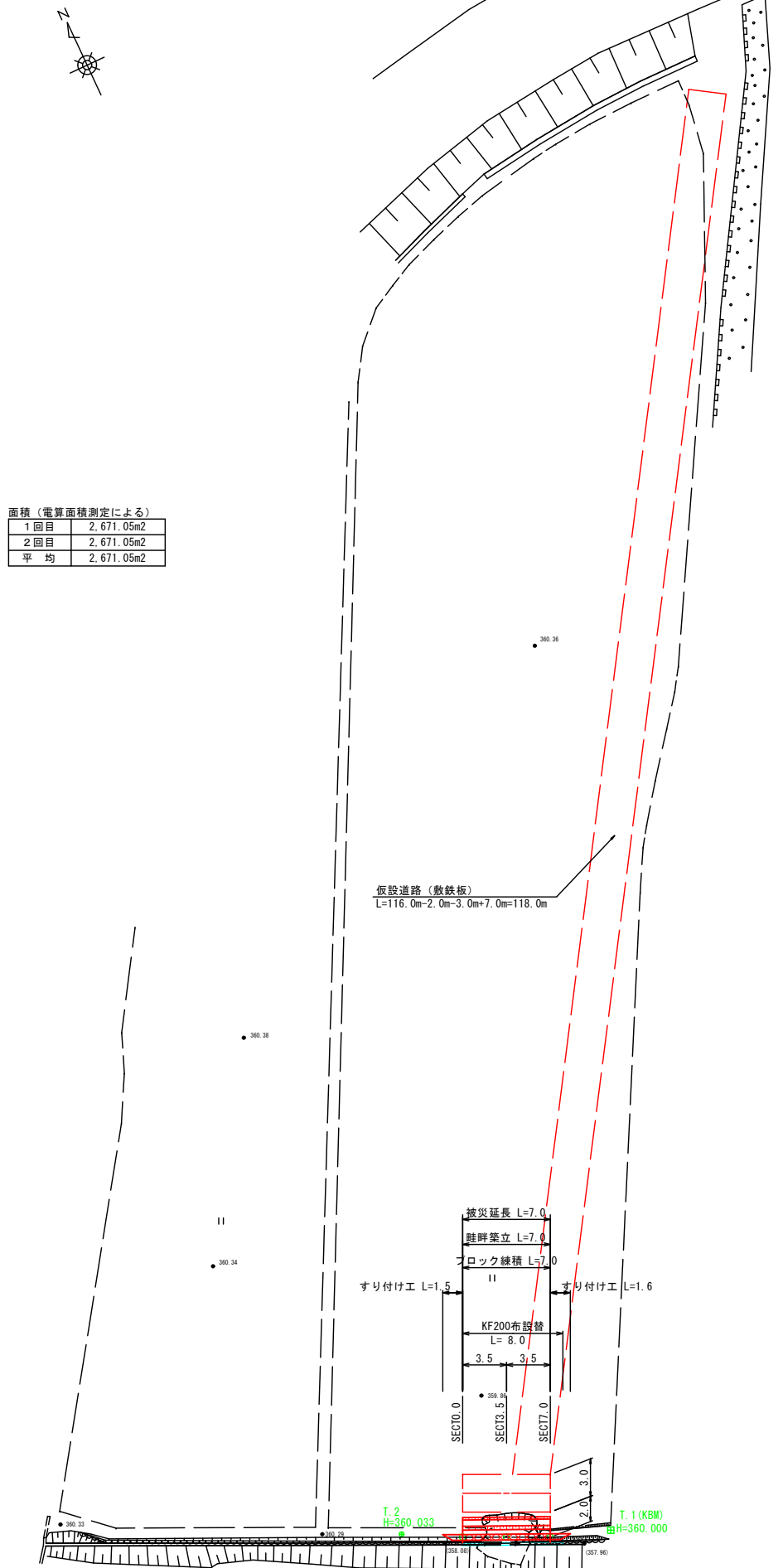
工事数量総括表

費目・工種明細など		規格 1 ・規格 2	単 位	数量 (前回)	数 量	備 考
畦畔築立			m		7	レベル 4
用排水工			式		1	レベル 3
角フリューム布設替		KF-200	m		8	レベル 4
仮設道路			式		1	レベル 3
敷鉄板			式		1	レベル 4
直接工事費						
運搬費						
運搬費			式		1	レベル 2
運搬費			式		1	レベル 3
仮設材輸送			式		1	レベル 4
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						

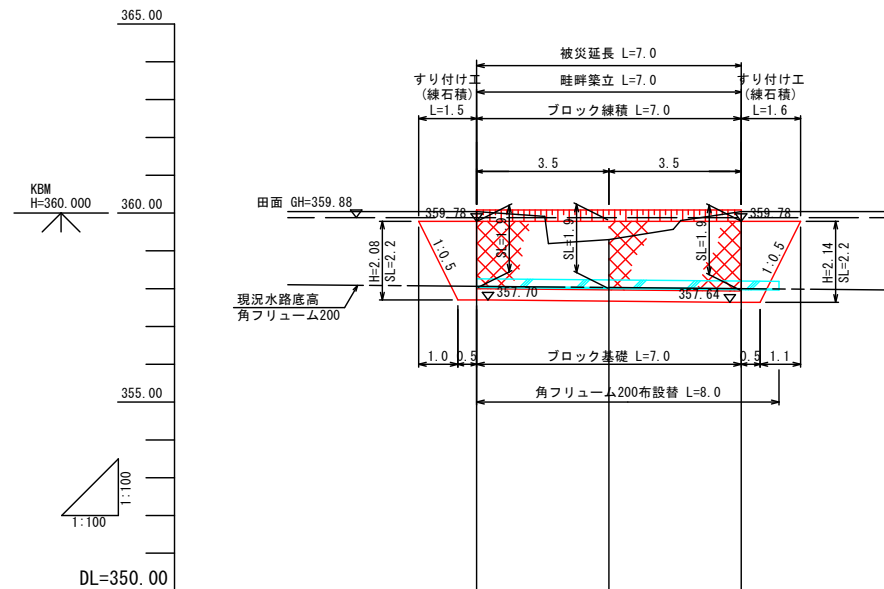
工事数量総括表

[illegible]

平面図 S= 1:250



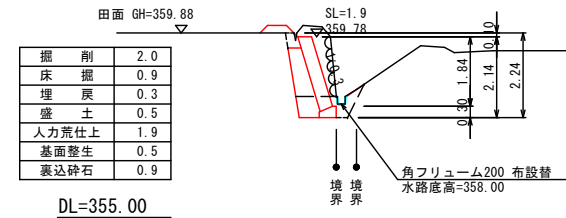
縦断図 V = 1:100
H = 1:100



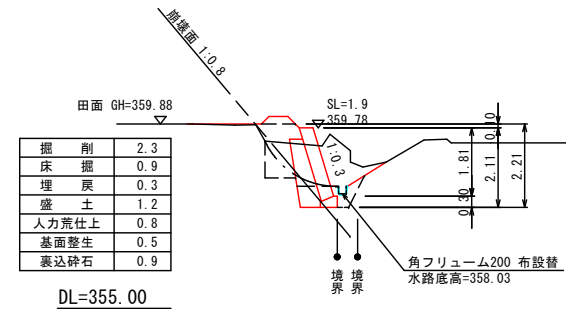
勾配	360. 08	LEVEL L=7. 00m	360. 08
盛土	0. 04	0. 78	0. 04
切土			
計画標高	360. 08	360. 08	360. 08
地盤標高	360. 04	359. 30	360. 04
追加距離	0. 00	3. 50	7. 00
点間距離	0. 00	3. 50	3. 50
測点	0. 0	3. 5	7. 0

横断図 S= 1:100

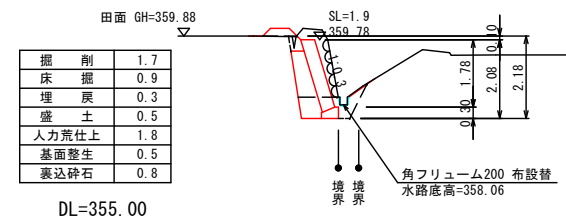
D = -
SECT7. 0
GH= 360. 04
FH= 360. 08 (畦畔高)



D = 3. 50
SECT3. 5
GH= 359. 30
FH= 360. 08 (畦畔高)



D = 3. 50
SECT0. 0
GH= 360. 04
FH= 360. 08 (畦畔高)

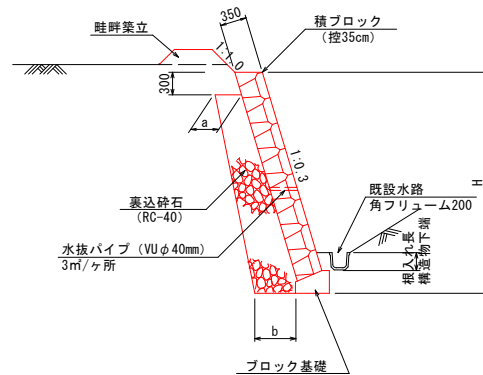


小運搬 なし	
図面の名称	図面番号
令和7年災害 東広島市福富町 刺田農地 復旧計画図	1 / 2
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図模写	

構造図

ブロック練積

S=1:50

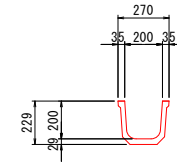


測 点	H	a	b
SECT 0.0	2.08	0.35	0.53
SECT 3.5	2.11	0.35	0.53
SECT 7.5	2.14	0.35	0.53

角フリューム200

S=1 : 20

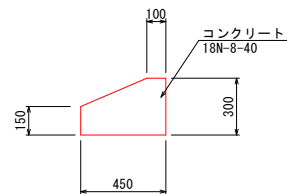
(布設替)



角フリューム200 数量表			10m 当り
名 称	規 格	単位	数 量
角フリューム	200型 布設替	個	5.0

ブロック基礎

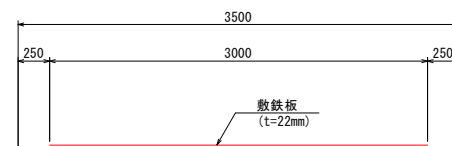
S=1:20



ブロック基礎 数量表			10m 当り
名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	1.09
型枠		m2	4.50

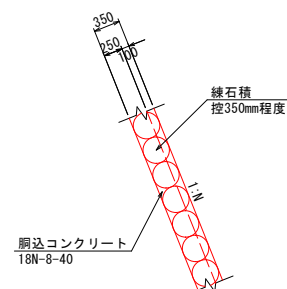
仮設道路（敷鉄板）

S=1:30



すり付け工(練石積)

S=1 : 50



哇畔築立

S=1 : 20

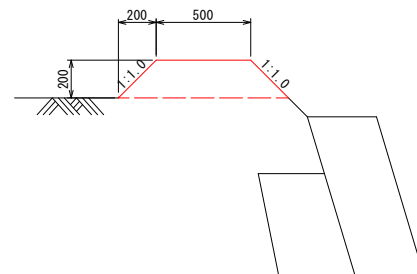


図 面 の 名 称		図面番号
令和7年災害 東広島市福富町 復旧計画図		2 / 2
測 量	令和 年 月 日 終了	
設 計		
製 原 図		
図 複 写		

参 考 図 書

工事名称：令和8年度 農業用施設災害復旧事業
福富地区災害復旧工事(8-2)

＜注意事項＞

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 その他

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分再起一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

施工箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
福富	砂・砂質土・ 礫質土	(有)広剛産業福富 残土処分場 1	東広島市福富町上戸野大井出 1460-1	4.2km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 46 東広島市(福富) 00-08.06.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015 ~)		
	当世代	前世代	
諸経費工種	01 ほ場整備工事		
工事費端数区分	01 千円未満切捨		
週休補正区分	07 4週8休以上(現場閉所)		
施工地域・工事場所区分	05 中山間地域		
契約保証費区分	01 金銭的保証(0.04%)		
前払支出割合区分	00 補正なし		
軽油区分	00 一般軽油使用		
復興補正区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
刺田農地										レベル 1	
		1			式						
刺田農地										レベル 2	
		1			式						
土工										レベル 3	
		1			式						
掘削										レベル 4	
土砂		15			m3						
掘削										00	
土砂 上記以外(小規模)		15			m3						
標準										単第 0 -0001号表	
床掘										レベル 4	
土砂		6			m3						
床掘り										00	
土砂 上記以外(小規模)		6			m3						
										単第 0 -0002号表	
埋戻										レベル 4	
土砂		2			m3						

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械併用埋戻(小規模土工)						00
盛土	2		m3			単第 0 -0003号表
土砂						レベル 4
機械併用埋戻(小規模土工)	6		m3			00
人力荒仕上げ	6		m3			単第 0 -0003号表
	9		m2			レベル 4
人力荒仕上げ(整形工)						00
土砂	9		m2			単第 0 -0006号表
運搬工						レベル 3
	1		式			
土砂運搬						レベル 4
土砂	12		m3			
土砂等運搬						00
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	12		m3			単第 0 -0007号表
DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)						レベル 4
処分費						
土砂	12		m3			

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
処分費 砂・砂質土・礫質土 (有)広剛産業福富残土処分場1、L=4.2km	12	m3				00
擁壁工						レベル 3
	1	式				
ブロック基礎工 A300-B450	7	m				レベル 4
ブロック基礎工 A 3 0 0 - B 4 5 0（盛土用）	7	m				00
練積ブロック 裏コンなし	13	m2				単第 0 -0008号表 レベル 4
ブロック積工 練積工：裏コンなし	13	m2				00
裏込工 RC-40	6	m3				単第 0 -0011号表 レベル 4
裏込碎石 RC-40	6	m3				00
	6	m3				単第 0 -0012号表

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
すりつけ工 練石積						レベル 4
	5		m2			
すりつけ工 練石積						00
	5		m2			単第 0 -0013号表
畦畔復旧工						レベル 3
	1		式			
畦畔築立						レベル 4
	7		m			
畦畔復旧工 天端幅 0 . 2 0 m ~ 0 . 5 0 m程度						00
	7		m			単第 0 -0016号表
用排水工						レベル 3
	1		式			
角フリューム布設替 KF-200						レベル 4
	8		m			
角フリューム布設 K F - 2 0 0 設置 パット接合						00
	8		m			単第 0 -0018号表
仮設道路						レベル 3
	1		式			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
敷鉄板										レベル 4	
		1			式					00	
	敷鉄板設置									00	
		354			m2					単第 0 -0019号表	
	敷鉄板撤去									00	
		354			m2					単第 0 -0021号表	
	敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048,802kg/枚 賃貸期間9日									00	
		77			枚					単第 0 -0022号表	
直接工事費											
運搬費											
運搬費										レベル 2	
		1			式						
	運搬費									レベル 3	
		1			式						
	仮設材輸送									レベル 4	
		1			式						

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 17.3km 製品長 12m以内	1		式			00 単第 0 -0023号表
共通仮設費率分						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						

本工事費

内訳表

頁0 -0008

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01%
労務構成比: 62.89%
標準
SPK25040001
材料構成比: 11.10%
市場単価構成比: 0.00%
単第 0 -0001号表
1
標準単価: 1,241.0000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0010

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0002号表

1
標準単価: m3 2,247.4000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

单第 0 -0003号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040007 小規模(標準) 単第 0 -0004号表 1 m3 当り
標準単価: 1,093.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

頁0 -0013

埋戻(人力)
砂・砂質土

单第 0 -0005号表

10

m3

当り

[illegible]

人力荒仕上げ（整形工）
土砂

頁0 -0014

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

単第 0 -0007号表
1
標準単価: 1,906.5000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0016

ブロック基礎工

A 3 0 0 - B 4 5 0 (盛土用)

单第 0 -0008号表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0009号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

37,478.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK25040157

单第 0 -0009号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

勞務構成比：

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

37,478.0000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0010号表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施 工 単 価 表

単第 0 -0011号表

頁0 -0020

ブロック積工
練積工：裏コンなし

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	10	m2			
時間的制約なし					
補正係数					
胴込・裏込コンクリート 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	2.13	m3			
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	10	m2			
合計	10	m2			
単位当り	1	m2			
A=1 練積工：裏コンなし D=1 夜間作業なし F=2 小型車割増あり			C=1 時間的制約なし E=1 遮水・止水シートなし G=1 距離割増なし		

施工単価表

頁0 -0021

裏込碎石

SPK25040035

単第 0 -0012号表

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 4.22% 労務構成比: 69.23% 材料構成比: 26.55% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,546.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	4.20%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	11.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	21.99%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0022

裹込碎石

SPK25040035

单第 0 -0012号表

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 4.22% 勞務構成比: 69.23% 材料構成比: 26.55% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価： 6,546.5000

[illegible]

すりつけ工
練石積

单第 0 -0013号表

頁0 -0023

10 m2 当り

[illegible]

施工単価表

石積(張)
積工
機械構成比: 6.02% 労務構成比: 91.08% 材料構成比: 2.90% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040064
練石 雑割石

単第 0 -0014号表

1
標準単価: 14,115.0000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.02%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	48.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	15.57%		石工		RTPC00017 RTPT00017
土木一般世話役	4.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 積工 C=2 雑割石			B=1 練石		

施工単価表

頁0 -0025

胴込・裏込コンクリート_石積(張)

SPK25040066

単第 0 -0015号表

積工

18-8-40BB

1

m3 当り

機械構成比: 1.83%

労務構成比: 29.13%

材料構成比: 69.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,633.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.83%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	11.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.16%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 積工 D=2 小型車割増有			B=2 18-8-40BB		

施工単価表

頁0 -0026

胴込・裏込コンクリート_石積(張)

SPK25040066

单第 0 -0015号表

積工

18-8-40BB

1

m3 当り

機械構成比: 1.83%

勞務構成比： 29.13%

材料構成比: 69.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,633.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

蛙畔復旧工

天端幅 0.20 m ~ 0.50 m 程度

单第 0 -0016号表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

バックホウ運転 (賃料)

クローラ型山積0.45m³ (平積0.35m³)

单第 0 -0017号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

角フリューム布設

K F - 2 0 0 設置

パット接合

单第 0 -0018号表

1 m 当り

[illegible]

敷鉄板設置

施工単価表

单第 0 -0019号表

頁0 -0030

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

单第 0 -0020号表

1 日 当り

[illegible]

敷鉄板撤去

施工単価表

单第 0 -0021号表

頁0 -0032

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

敷鉄板賃料

22 × 1524 × 3048, 802kg/枚

貸貸期間9日

单第 0 -0022号表

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬

運搬距離 17.3km 製品長 12m以内

单第 0 -0023号表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

基本運賃

運搬距離 17.3km

製品長 12m以内 運搬質量 61.75t

单第 0 -0024号表

式 当り

[illegible]

積込み,取卸しに要する費用

单第 0 -0025号表

頁0 -0036

1 式 当り

[illegible]

設計数量総括表

設計書名：令和7年度 災害復旧工事 刺田農地 【当初】

2/212 刺田農地 1/15

工 種 レベル 2	種 別 レベル 3	細 別 レベル 4	規 格 1／規 格 2 レベル 5	単位	元設計数量		摘 要
					計算数量	設計数量	
	土工						
		掘削	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	14.5	15	
		床掘	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	6.4	6	
		埋戻	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	2.2	2	
		盛土	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	6.0	6	
		人力荒仕上		m2	9.3	9	
		基面整正		m2	3.6	4	
	擁壁工						
		ブロック基礎	A300-B450	m	7.0	7	
		ブロック練積	A種、控35cm、裏コン無し	m2	13.3	13	
		裏込碎石	RC-40	m3	6.2	6	
		すり付け工	練石積	m2	4.5	5	
	構造物撤去工						
		コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート	m3	0.06	0.1	
		コンクリート殻処分	鉄筋コンクリート	t	0.2	0.2	
	運搬工						
		残土運搬	土砂, 4t積級, 距離L=4.2km	m3	11.8	12	
	処分費						
		建設発生土受入費	残土	m3	11.8	12	
	畦畔復旧工						
		畦畔築立	W=0.5m, H=0.2m	m	7.0	7.0	
	用排水路工						
		角フリューム200 布設替	KF-200	m	8.0	8.0	
	仮設工(敷鉄板)						
		敷鉄板	設置・撤去	m2	354.0	354	
		敷鉄板	賃料	枚	77.0	77	供用日数=9日
輸送費							
	運搬費						
		仮設材輸送		式	1.0	1	運搬重量=61.75t

土 量 配 分 表

掘削
14.5

$6.0 \div 0.9 = 6.7$

盛土
6.0

床掘
6.4

$2.2 \div 0.9 = 2.4$

埋戻
2.2

他箇所からの流用
0.0

$14.5 + 6.4 + 0.0 - 6.7 - 2.4 = 11.8$

残土処分
11.8

各種数量計算書

刺田農地

測点名	距離	掘削			床掘			埋戻			盛土		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	1.7			0.9			0.3			0.5		
SECT3.5	3.5	2.3	2.00	7.0	0.9	0.90	3.2	0.3	0.30	1.1	1.2	0.85	3.0
SECT7.0	3.5	2.0	2.15	7.5	0.9	0.90	3.2	0.3	0.30	1.1	0.5	0.85	3.0
合計	7.0			14.5			6.4			2.2			6.0

各種数量計算書

刺田農地

測点名	距離	人力荒仕上			基面整正								
		延長	平均	数量	延長	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	1.8			0.5								
SECT3.5	3.5	0.8	1.30	4.6	0.5	0.50	1.8						
SECT7.0	3.5	1.9	1.35	4.7	0.5	0.50	1.8						
合計	7.0			9.3			3.6						

各種数量計算書													
刺田農地													
測点名	距離	ブロック基礎			ブロック練積			裏込碎石					
		延長	平均	数量	法長	平均	数量	断面	平均	数量	法長	平均	数量
SECT0.0	-	1.0			1.9			0.8					
SECT3.5	3.5	1.0	1.00	3.50	1.9	1.90	6.65	0.9	0.85	3.0			
SECT7.0	3.5	1.0	1.00	3.50	1.9	1.90	6.65	0.9	0.90	3.2			
合計	7.00			7.00			13.30			6.2			

刺田農地

[illegible]

各種数量計算書													
刺田農地													
測点名	距離	畦畔築立											
		延長	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	1.0											
SECT3.5	3.5	1.0	1.00	3.5									
SECT7.0	3.5	1.0	1.00	3.5									
合計	7.0			7.0									

刺田農地

[illegible]

刺田農地

敷鉄板運搬費

敷鉄板運搬費は、農林水産省 土地改良工事積算基準（土木工事）令和6年度（以下、積算基準）による。

敷鉄板規格：22×1524×3048

敷鉄板 1 枚当たり面積：4.6m²/枚

敷鉄板 1 枚当たり重量：802kg/枚

敷鉄板設置面積（m²）

354 m² A=3.0× 118.0

敷鉄板使用枚数（枚）

354÷4.6=77 枚

敷鉄板総重量（t）

77枚×0.802=

61.75 t

敷鉄板日数算定表

令和7年4月以降

1. 日 当 り 作 業 量 算 定 表																				
番号	名 称		規 格	単 位 当 歩 掛	日 当 作 業 量	番号	名 称		規 格	単 位 当 歩 掛	日 当 作 業 量	番号	名 称		規 格	対 象 作 業 量	日 当 作 業 量	掛 人 員 台 数	日 数	備 考
1	人力掘削		土砂		4.00 m ³ /日	34	練積ブロック		t=0～20cm		10.00 m ² /日	14	機械掘削		地山の掘削	14.5	37.00	1	0.4	◎原則は
2	人力床掘		土砂		2.40 "	35	整 地		押土ルーズ		760.00 m ³ /日	19	機械床掘		土砂	6.4	32.00	1	0.2	
3	岩掘削	コンクリート ブレーカ	軟岩Ⅰ		25.00 "	36	裏 込 工	積ブロック	0.140 人/m ³	7.14 m ³ /日	24	機械埋戻		砂・砂質土	2.2	14.71	1	0.1		
4			軟岩Ⅱ		17.00 "	37		張ブロック	0.080 人/m ³	12.5 "	24	機械埋戻		砂・砂質土	6.0	14.71	1	0.4		
5			中硬岩		13.00 "	38	型 枠	鉄筋・無筋構造物		38.00 m ² /日	54	人力荒仕上げ		転石混土を除く	9.3	83.33	1	0.1		
6			硬岩Ⅰ		8.00 "	39		小構造物		15.00 "										
7		大型ブレーカ 障害無し	軟岩		59.00 "	40		均し基礎コン		38.00 "	39	型 枠		小構造物	3.15	15.00	1	0.2		
8			硬岩		45.00 "	41	コン ク リ ー ト	無筋構造物		4.00 m ³ /日	43	コンクリート		小構造物	0.76	5.00	1	0.2		
9			大型ブレーカ 障害有	軟岩		32.00 "		42	鉄筋構造物		4.00 "	34	練積ブロック		t=0～20cm	13.3	10.00	1	1.3	
10	硬岩			21.00 "	43	小構造物			5.00 "	36	裏込工		積ブロック	6.2	7.14	1	0.9			
11	機械掘削	0.13m ³	地山の掘削		15.00 "	44		ポンプ車	無筋構造物		69.00 "	65	石積工		練石	4.5	19.00	1	0.2	
12			ルース [*] の積込		22.00 "	45	鉄筋構造物			69.00 "	66	畦畔築立		0.20m～0.50m程度	7.0	80.00	1	0.1		
13			舗装版の破砕積込		23.00 "	46	パ [*] ック納クレン付		無筋・鉄筋・小構造物		8.00 "	47	フリーウム		L=2.0m 1t以下	8.0	43.00	1	0.2	
14		0.28m ³	地山の掘削		37.00 "	47	フ リ ュ ム		L=2.0m 1t以下		43.00 m/日									
15			ルース [*] の積込		42.00 "	48	鉄筋組立 (一般作業)		クレーン必・不要		3.50 t/日									
16		0.80m ³	土砂(オーブン)		270.00 "	49	フ ト ン 箆		橋梁用床板		4.00 "									
17			土砂(片切)		220.00 "	50	(H=500)													
18			岩塊・玉石		210.00 "	51		階段式		21.00 m/日										
19	機械床掘	小旋回0.28m ³	土砂		32.00 "	52	基 面 整 正				50.00 m ² /日									
20		0.45m ³	土砂		150.00 "	53	基 礎 砕 石		RC-40		155.00 "									
21			岩塊・玉石		110.00 "	54	人力荒仕上げ		転石混土を除く	0.012 人/m ²	83.33 "									
22		0.80m ³	土砂		220.00 "	55	吸出防止材設置		全面施工	0.005 人/m ²	200.00 "									
23			岩塊・玉石		160.00 "	56	法 面 整 形		盛土部		140.00 "									
24	機 械 埋 戻		砂・砂質土	0.068 人/m ³	14.71 "	57			切土部		140.00 "									
25	人力まき出し		粘・礫質土	0.085 "	11.76 "	58	張 芝 工		全面張	0.017 人/m ²	58.82 m ² /日									
26	盛 土	路体(築堤)				59	地盤改良工		H=1.0m以下		116.00 m ² /日									
27		盛土・埋戻	2.5～4.0m		86.00 "	60	暗 渠 排 水		φ50		206.00 "									
28		路床盛土					61	大型土のう		制作・設置		52.00 袋/日								
29			2.5～4.0m		78.00 "	62	撤去				134.00 "									
30	構造物取壊	無筋構造物	機械施工		19.00 "	63	コンクリート		t≤3cm		17.50 m ² /日									
31			人力施工		5.50 "	64	は つ り		3cm<t≤6cm		8.40 "									
32		鉄筋構造物	機械施工		11.00 "	65	石積工		練石		19.00 "									
33			人力施工		4.00 "	66	畦 畔 築 立		0.20m～0.50m程度		80.00 m/日									
												合 計				割増係数	1.7		4.3	
													敷鉄板	設置	354.0	656.00	1	0.5		
													敷鉄板	撤去	354.0	701.00	1	0.5		
															合計			8.35		
													共用日数					9 日		

設計数量総括表

設計書名：令和7年度 災害復旧工事 刺田農地 【当初】

2/212 刺田農地 12/15

工 種 レベル 2	種 別 レベル 3	細 別 レベル 4	規 格 1/規 格 2 レベル 5	単位	元設計数量		摘 要
					計算数量	設計数量	
	土工						
		掘削	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	14.5	15	
		床掘	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	6.4	6	
		埋戻	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	2.2	2	
		盛土	土砂 バックホウ0.28m3級	m3	6.0	6	
		人力荒仕上		m2	9.3	9	
		基面整正		m2	3.6	4	
	擁壁工						
		ブロック基礎	A300-B450	m	7.0	7	
		ブロック練積	A種、控35cm、t=0cm	m2	13.3	13	
		裏込碎石	RC-40	m3	6.2	6	
		すり付け工	練石積	m2	4.5	5	
	構造物撤去工						
		コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート	m3	0.06	0.1	
		コンクリート殻処分	鉄筋コンクリート	t	0.2	0.2	
	運搬工						
		残土運搬	土砂、4t積級、距離L=km	m3	11.8	12	
		コンクリート殻運搬	コンクリート殻(鉄筋) 4t積級、距離L=km	m3	0.06	0.1	
	処分費						
		建設発生土受入費	残土	m3	11.8	12	
		産業廃棄物受入費	鉄筋コンクリート	t	0.2	0.2	
	畦畔復旧工						
		畦畔築立	W=0.5m, H=0.2m	m	7.0	7.0	
	用排水路工						
		角フリーム200 布設替	KF-200	m	4.0	4.0	
		角フリーム200 撤去・新設	KF-200	m	4.0	4.0	
	仮設工(敷鉄板)						
		敷鉄板	設置・撤去	m2	354.0	354	
		敷鉄板	賃料	枚	77.0	77	供用日数=9日
輸送費							
	運搬費						
		仮設材輸送		式	1.0	1	運搬重量=61.75t

各種数量計算書													
刺田農地													
測点名	距離	法面整形（盛土部）			張芝								
		法長	平均	数量	法長	平均	数量	断面	平均	数量	延長	平均	数量
SECT0.0	-	0.1			0.4								
SECT3.5	3.5	0.1	0.10	0.4	0.4	0.40	1.4						
SECT7.0	3.5	0.1	0.10	0.4	0.4	0.40	1.4						
合計	7.0			0.8			2.8						

